

| Minami Kyushu University Syllabus | | | | | | | | | |
|-----------------------------------|---|---------|-----|---------|------|--------|--------|----------------|---|
| シラバス年度 | 2022年度 | 開講キャンパス | | 都城キャンパス | 開設学科 | | 環境園芸学科 | | |
| 科目名称 | ガーデニング特別実習 | | | | | 授業形態 | 実習 | | |
| 科目コード | 710081 | 単位数 | 2単位 | 配当学年 | 3年 | 実務経験教員 | ○ | アクティブ ラーニング | ○ |
| 担当教員名 | 金井 良一、吉田 晋弥、岡島 直方 | | | | | | | | |
| 授業概要 | <p>造園・ガーデニングをキーワードに活躍されている外部講師が担当し、植物・花・緑・ガーデン修景物に関連する実践的な実習を展開する。実習内容については、本学のホームページのトピック欄でも時々紹介しているので、参照されたい。</p> <p>吉田先生は、宮崎県の各地において、植物と緑による空間づくりに多大な実績がある。その内容について、先生ご自身が関わっている実際の公園（現場）で学ぶ。</p> <p>金井先生は、独創的なガーデンづくりを展開しているガーデンデザイナーとして、テレビ番組等でも国内外で活躍中であり、その経験をフルに実習にフィードバックしていただく。金井先生のものづくりの姿勢が直接伝授される。</p> <p>二人の先生による実習内容を修得することにより、本学の造園・ガーデニング系実習の締めくくりとする。</p> | | | | | | | | |
| 関連する科目 | <p>本科目を受講するのに当たって事前に単位を修得しておくべき科目は、「造園ガーデニング実習Ⅰ、Ⅱ」である。</p> <p>「造園施工実習」は関連科目である。</p> | | | | | | | | |
| 授業の進め方 と方法 | <p>前半は、先生らが監修している公園の管理方法やみどりの育成について、実際の公園現場で体感する。</p> <p>後半は、受講者をグループに分け、目標としている課題を達成するための意識の働かせ方、身体の動かし方を体験する。</p> | | | | | | | | |
| 授業計画 【第1回】 | <p>1回目 ガーデニング特別実習の概要説明及び亜熱帯植物の維持管理について ガーデニング特別実習の概要説明と亜熱帯植物園での実際の管理について現地で植物を見ながら管理方法を学習する。</p> | | | | | | | | |
| 授業計画 【第2回】 | <p>2回目 植物生産、性状についての研修 植物による景観づくり、植栽設計に植物栽培、性状を知ることが大事なのかを生産圃場を見学し栽培、植物性状を学ぶ。</p> | | | | | | | | |
| 授業計画 【第3回】 | <p>3回目 公園ビオトープについて説明の見学と研修 ビオトープの概要説明及び管理方法を説明する</p> | | | | | | | | |
| 授業計画 【第4回】 | <p>4回目 都市公園、英国式庭園の管理についての研修 都市公園の維持管理及びみやざきの英国式庭園について歴史と経緯、設計、維持管理などを解説する</p> | | | | | | | | |
| 授業計画 【第5回】 | <p>ガーデンデザイン・創作実習からの学習1 フリコラージュの考え方・実践方法を学ぶ</p> | | | | | | | | |
| 授業計画 【第6回】 | <p>ガーデンデザイン・創作実習からの学習2 金井先生の施工例などを鑑賞しその考え方・実践方法を学ぶ</p> | | | | | | | | |
| 授業計画 【第7回】 | <p>ガーデンデザイン・創作実習からの学習3 施工例ごとのデザイン・施工方法を学ぶ</p> | | | | | | | | |
| 授業計画 【第8回】 | <p>ガーデンデザイン・創作① テーマに沿って自分たちのイメージするデザインを考える。 デザインの方法を学ぶ。</p> | | | | | | | | |
| 授業計画 【第9回】 | <p>ガーデンデザイン・創作② デザインに合う材料(素材) を考える。実際の素材を探す(集める)事を学ぶ</p> | | | | | | | | |
| 授業計画 【第10回】 | <p>ガーデンデザイン・創作③ 素材を組み合わせてデザインに沿う実際の作品を制作する。制作方法を学ぶ①</p> | | | | | | | | |
| 授業計画 【第11回】 | <p>ガーデンデザイン・創作④ 素材を組み合わせてデザインに沿う実際の作品を制作する。制作方法を学ぶ②</p> | | | | | | | | |

| | |
|---------------------|--|
| 授業計画 【第12回】 | ガーデンデザイン・創作⑤ 素材を組み合わせでデザインに沿う実際の作品を制作する。制作方法を学ぶ③ |
| 授業計画 【第13回】 | ガーデンデザイン・創作⑥ 制作した作品の仕上げ作業を行う。伝達・確認などの完成方法方法を学ぶ |
| 授業計画 【第14回】 | ガーデンデザイン・創作⑦ 動画を制作しプレゼンテーションの為に準備を行う。 伝えるための動画制作方法を学ぶ。 |
| 授業計画 【第15回】 | 作品展示・発表、実習の総括など 発表・プレゼンテーションを行う。自身のデザイン・制作した作品の表現方法を学ぶ。 |
| 授業の到達目標 | ガーデニング活動に関する実践活動を実社会において自信を持って展開できるように技術や考え方を修得する。 |
| 学位授与の方針 (DP)との関連 | 1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4) |
| 授業時間外の学修 【予習】 | 実習が開始したら、それぞれの先生より翌日は何を学ぶかの説明があるので、予め調べたり、課題に取り組んだりし、授業当日に尋ねられたら答えられるようにしておく。(30分程度) |
| 授業時間外の学修 【復習】 | 実習を振り返り、その日学んだことをレポートにまとめる。(30分程度) |
| 課題に対する フィードバック | 前日に調べたり、取り組んだり、当日質問があったことに対し、授業中に教員がその場で回答する。 問題解決のヒントは、その場で示される。 |
| 評価方法・基準 | 実習の参加態度と最終回以後にまとめて提出するレポートの内容により評価を行う(100点)。 |
| テキスト | 授業開始時または説明会時にプリント配布 教員が説明することそのものがテキストとなる。 |
| 参考書 | 金井良一氏のガーデニングに関する一連の著書、 ・金井良一の手づくりガーデン(2001) ・金井良一のウェルカム・ガーデン(2003) などや、 YouTubeの動画：カナイスタイルシリーズ 日本庭園 庭リメイク DIY 園庭(チャイルドガーデン) など92本 現在も配信中 |
| 備考 | 授業の説明会を実施する場合がある。 生活園芸士の取得を考えている学生は、本科目の受講以前に造園ガーデニング実習Ⅰ、Ⅱの単位 を取得しておくこと。春休みに集中講義として実施するが、他の集中講義との重複がないようにすること。 |